

合格体験記⑥

東京学芸大学 教育学部

【大学の種類】国公立

【キャンパス】小金井キャンパス（東京）



～大学 info～

【設置学部】

教育学部

【学生数】4, 396人

【豆知識】

「教員を目指すなら日本一充実している環境であるといえる大学かもしれない。」それくらい教育学部が有名です。元日本ハム監督の栗山英樹さんの母校でもあります。キャンパスの中に小学校などがあるので、歩いていると小学生とよくすれ違うんだとか。

東京都目黒区に「学芸大学」という駅があるが、そこに東京学芸大学はなく、最寄り駅は「武蔵小金井」駅なので注意。

まず私が高校生活で頑張ったことは部活動です。部活動は勉強の時間を減らすと思われがちですが、それは時間の使い方が重要です。陸上部のおかげで、計画力、集中力、精神力を得て、色々な人との関わりを持って進路も明確になっていき、受験勉強が辛くなっても耐えることができました。また部員とのたくさんの思い出も宝物です。一年生には特に、部活動に入って辛いことにも取り組む力をつけて欲しいです。それが無理であれば、何か熱中できることに高校生活を捧げる気持ちでやってほしいです。きっと後々大きな支えになります。

勉強について、一年生の時は定期テスト対策を2週間前からやり、普段から授業をしっかりと聞いていました。受験に関係ない教科も勉強の一部だと思って、全教科評定5を狙っていました。また高校入学前から英単語を覚えるようにしていて、一年生の時も続けました。英単語の覚え方は、個人的な意見ですが単語帳より例文でやったほうが、覚えやすくなるようになりました。英単語をまず20個ほどやって、次の日に前日の20個プラス20個をやり、覚えられなかったものをチェックして、何周も続けました。発音も一緒にやるとなると、文法も余裕があったらやったほうが良いと思います。あとは学校の数学の問題集を一日のノルマをきめて何周もやりました。どちらも学校で用意されたものを完璧にすると、後でとても楽です。完璧になってからほかの問題集も検討してください。一年の春休みのうちに数学の問題集を一周するか、苦手な人は例題をじっくりやり、苦手をなくしたほうが良いと思います。理科や社会は普段の授業を大切にしました。私は塾に行かず進研ゼミをやっていましたが、やらなくてもなんとかなります。他には、模試はしっかり受け復習をする、センター試験の過去問を一度として一年生の時から雰囲気を感じる、講習はなんでも取らず必要なものをもって復習自分のものにする、時間のあるうちにオープンキャンパスや先生との進路相談で志望校を定めていくことなどが大切です。私は一年～三年生の長期休みに札幌の予備校に何度か通ったりもしました。とても刺激を受け、根性の緩さを感じました。可能であれば行ってみるのもいいと思います。一番大切なのは、一年生から勉強の習慣をつけることです。最初は短い時間からでも、集中できる環境や時間、勉強法を見つけてください。私は一年生の途中から朝勉強を五時半くらいから毎日やっていて、部活で放課後忙しい人には特におすすめです。一年生からコツコツやった人は三年生になっても強いです。二年生では数ⅠAに加え数ⅡBをやりつつ、一年生にやっていたことを続けました。本格的に受験を意識したのは修学旅行後で、勉強時間をもっと増やしました。進路が確定し理科の問題集も取り組むようになり、年が明けてからは休み時間も勉強をするようになりました。二年生でも授業を大切に、だいたいの教科の苦手は潰したほうが良いです。後から苦労します。二年生の春休みに勉強の習慣がない人は焦って、真剣に取り組んでください。習慣がある人は、より密度の高い時間を過ごせるように工夫していくと、三年生になって楽になります。

三年生になってからは受験モードで、ほぼ遊んだ記憶がありません。六月に部活を引退してからは自習室にこもりました。三年生になってから大変なのは、行事とのバランスとクラスの雰囲気、切り替えが大切になります。行事はとても楽しかったですが、全国のライバルのことを考えて、毎日の勉強は欠かさなかったです。受験は基本自分との戦いなので、クラスの雰囲気が受験ではなかったら空き教室で勉強したほうが良いです。平均の勉強時間は11時間くらいで、90分集中して10分休むことを繰り返すと、長く密度の高い時間を過ごせました。センター対策は7月くらいからはじめ、ほぼ全教科の過去問を買い、英語と国語以外は最低3周し、そこからつまずいた問題だけ取り組みました。必ず制限時間内に、慣れてきたらもっと短い時間で解けるようにしなければ意味がありません。二次試験対策もこの頃からはじめ、繰り返し解いていきました。あとは毎月の模試の結果をうけとめ、復習しました。11月くらいから偏差値が落ち始めました。全国の人の追い込みは凄まじく、早めのスタートダッシュが大切だと思います。冬休み前には過去問を制覇し、実践問題をやりました。特に直前の模試で良くなかった英語と国語をやり、英語はさらにリスニングの問題や長文の英語音声を聞きながら自分も重ねて読むことを繰り返すと本番では驚く程点数がとれました。英語は書くだけでなく、聴いたり喋ったりすることが効果的だと思います。本番はたくさん勉強した分自信がついたので落ち着いてでき、点数がのびました。

みなさんにやってほしいことは勉強の積み重ね、授業を大切にすること、受験は三年生からという意識をずてることです。いきなり勉強ができるようになるのは希なので、目標を高く持ちしっかり積み重ねていってほしいです。受験は全国にライバルがいて基本辛いですが、頑張った分受かった喜びはとても大きかったです。いいイメージをもって、時にはみんなでも励ましあい、本気で挑んで自分に勝ち、最後まで勉強を続けられたら成功します！みなさんの頑張りを応援しています。頑張れ根高生！！！！！！

